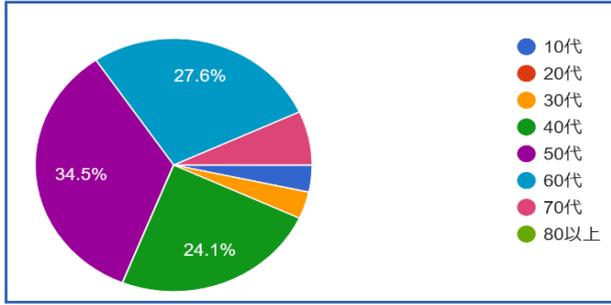
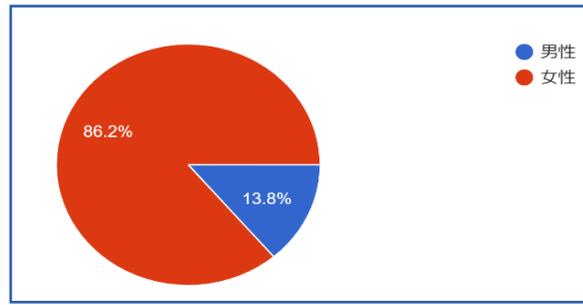


2021年12月5日開催 市民向け講座「ピア～まちをつなぐもの～」上映会 アンケート結果  
 参加者:46名(関係者含む) アンケート回収率:83%(関係者除く)

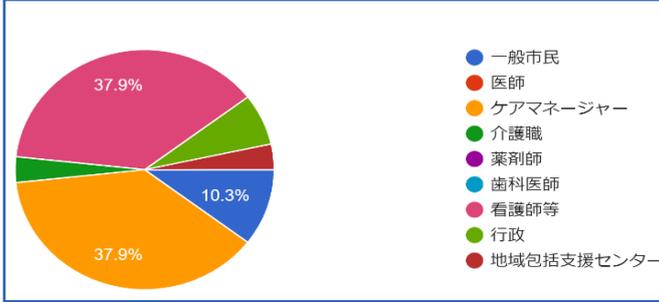
1 年齢



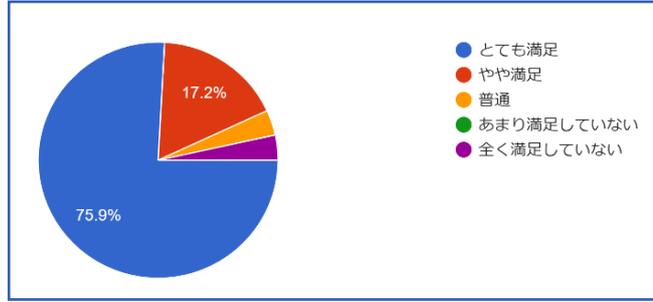
2 性別



3 職業



4 映画に満足しましたか？



5 映画の感想を教えてください

多職種連携を分かりやすく紹介してもらえて良かったです。若干無理な感じがまた良かった。  
 多職種での連携が非常にわかりやすく勉強できました。

利用者さんに寄り添うケアマネの姿にとっても勉強になった。医師に意見することはなかなか難しいが、それくらいの気持ちを持っていたい。在宅医には、是非観ていただきたい映画だと思います。

こんなふうに医療職と介護職の連携が取れ、それぞれの役割を果たし同じ位置に立って診ていくことができるのは理想的だと思った。

日頃から連携は意識しますが、一人一人の思いを確認と再確認が大切な事と、チームで支えている気持ちを本人と家族へ伝える支援が大切な事が、今回深く思いました。

在宅がイメージしやすくわかりやすい映画でした。改めて在宅医療、介護においてチームでかかわる大切さを学ぶことが出来ました

高橋医師が成長していく姿を見て同じように若い医師にもこの映画を見て成長して欲しいと思いました。チーム(仲間ピア)はみな平等だという言葉が印象に残りました

日々の業務で忘れていたことを思い出させてもらえる機会をもらいました  
 その人らしく生きる事。そのためには理解が必要で支えてくれる人が必要。とてもわかりやすく感動しました  
 とてもわかりやすく良い内容でした。ストーリーの流れを重視していたからか各専門職種の役割がもう少し見られる場面があると良かったと思います。ケアマネや栄養士の活躍ももっと見たかったです。

お医者さんに見て頂きたいと思います。高齢化で在宅医療が増えるのは予想がつきますが支える体制の人手不足がとても心配です

実際に在宅で家族を看取った者として今更ながら多くの人達に支えられて看取ることが出来たと実感しました。病人以上在宅はチームで支える事がとても重要であることがわかりました

みんなの一人一人のピアの力が協力されてゆくことの大切さが良かったです  
 とても丁寧に作られていてよかったです。感動しました。在宅療養の理想的な姿が描かれていていろいろな人に分かって欲しいと思います

病院医療・在宅医療の違い その人が最後までその人らしく生きることが出来るために在宅医療はある！！

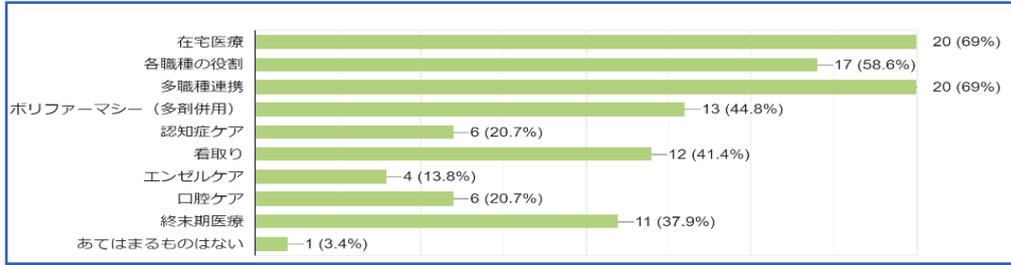
多職種連携を行う事で在宅生活が可能なんだとわかった部分と高齢者が認知症を患ってしまう事で同居家族への介護負担が大きく、また家族が高齢になってしまう事で在宅が難しい現実となっている事もありますよね。映画のようにはなかなかとても良かったです。感動しました。在宅の方もチームが支えていく大切さを改めて感じる事が出来ました。人のあたたかさを大切にしていきたいです。

医療の事は考えたことなかなかったのでこの映画を見てはじめて大事な事だと思いました  
 涙が止まりませんでした。こんなに主役の医師が成長するなんて  
 在宅医療についてとてもわかりやすく構成されたと思います。見る機会があつて良かったです。

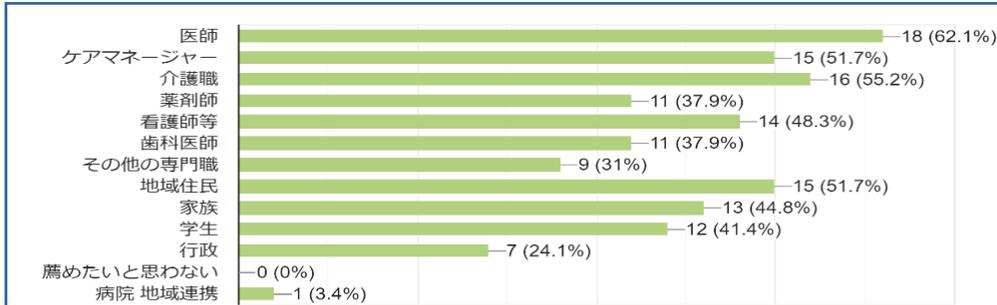
原点に帰り気持ちが洗われました。しかし現場では、このようにはいかない状況があります。時間的には難しくても一人一人にきちんと向き合う事をやってまいります

感動しました。  
 在宅医療とはの基本的考え方について、主人公の二代目先生を通じて、良く理解できました。

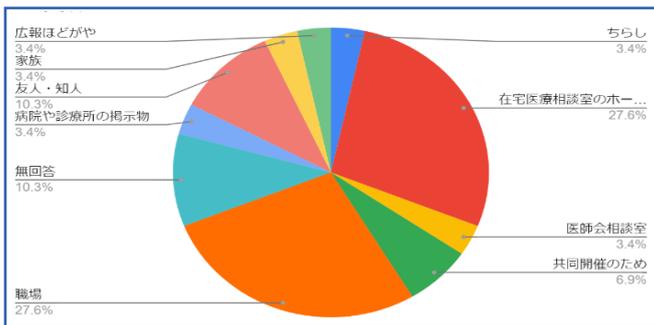
## 6 映画を見て勉強になったものがあれば教えてください



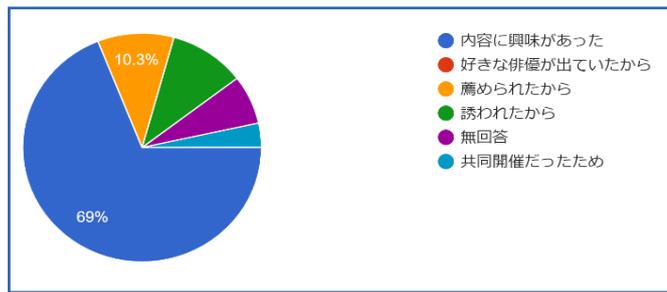
## 7 「ピア」をどんな人に勧めたいですか？



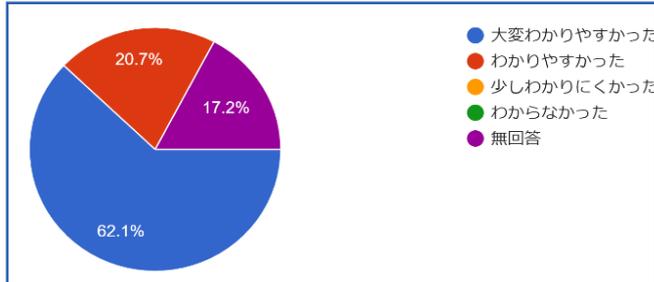
## 8 上映会はどのようにお知りになりましたか？



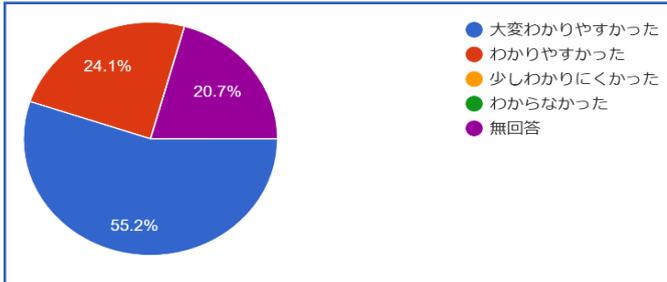
## 9 参加した動機



## 10 在宅医からのコメントについて



## 11 在宅医療相談室の紹介について



## 12 今後も市民向けイベントに参加したいですか？

